

飯山市の歴史



千曲川に響くSLの汽笛
蒸気をあげ、汽笛を鳴らして
千曲川沿いを進む蒸気機関車
の雄姿が記憶に残る方もい
るのではないのでしょうか。飯
山線は、小海線と並んで長
野県でもっとも遅くまでSL
が活躍していた路線です。
昭和47年にディーゼル車
にその座を譲ったSL:C56
129号は、ころを使って栄町
通りを鉄砲町児童公園(通
称SL公園)に運ばれ、現在
も見ることができます。

- 飯山公民館 電話：62-3342
FAX：62-5940
秋津公民館 電話/FAX：62-2330
木島公民館 電話/FAX：62-0555
瑞穂公民館 電話/FAX：65-2501
柳原公民館 電話/FAX：62-5562
富倉公民館 電話：67-2136
FAX：67-2211
外様公民館 電話/FAX：62-1029
常盤公民館 電話/FAX：62-3200
太田公民館 電話/FAX：65-4579
岡山公民館 電話：69-2010
FAX：69-1800

チョウの乱舞する「あの頃」の黒岩山へ
人と山の新しい関係を模索し現在の保護活動へ

天然記念物・黒岩山

黒岩山は、飯山市の蝶ギフチョウとヒメギフチョウの混生地として知られています。春には、斜面一面にピンクの花を咲かせて群生するカタクリの蜜を求めて飛び交うチョウの姿が牧歌的な美しさを見せてくれます。山頂付近の熊の巣池周辺では、木々の枝先に泡状の卵を産む珍しいモリアオガエルや、クロサンショウウオが生息するほ

山が生活を支えていた頃

このうち特にチョウの生育環境は、昔から里に住む人々の生活と密接な関わりを持ちながら維持されてきました。日々の暮らしの中で、煮炊きや暖をとるための燃料となる薪を求めて里人が山に入り、手ごろな太さの雑木を切り出していく。結果として、地表には日光がよく届き、明るい光を好むウスバサイシンやカミアオイ、カタクリなど幼虫



△自然豊かな黒岩山。生物の営みは驚きがいっぱい。(5/9ギフチョウ・ヒメギフチョウ・カタクリの花観察会)

や成虫の餌となる植物の生育を促します。チョウが生きられる生育環境が人のライフスタイルと見事に調和していたのでした。
光の届かない地表に…
しかし、時代の移り変わりとともに、薪を取りに山に入



作品について語る齋藤一郎さん

飯山市にゆかりがあり、現在市外で活躍している11名の美術家の作品約60点を一堂に紹介した企画展が盛況のうちに終了しました。期間中、4千人以上の方々にご来館いただきました。
10月24日には、出品作家が自身の作品について語る特別イベント「作品はこうして生まれた」を開催することができました。ご出席いただいた美術家は、猪瀬清四朗さん(彫刻)、浦野吉人さん(洋画)、小野澤健一さん(彫刻)、木原正徳さん(洋画)、小林宏さん(日本画)、齋藤一郎さん(和紙作品)、柴田長俊さん(日本画)、野口俊文さん(洋画)の8名の方々と、それぞれの作品制作のテーマや技法・材料に関するお話、さらには創作活動に賭ける熱い想いまで語っていただきました。当日は市内の中学生や高校生40人以上、大人も合わせて80人以上が参加し、個性豊かな美術家たちの話に熱心に耳を傾ける姿が見られました。



△「春の女神」と称されるギフチョウ。カタクリの花の蜜を求めて舞う。

る人もなくなり、雑木が生い茂り光が届かなくなった地表では、チョウの餌となる植物が消え、餌を失ったチョウも徐々に消えていったのです。
人と山の新しい関係
人々の生活が変わってし



地表に日光がよく届くよう、草や雑木を刈り払う。

まった以上、昔の生態系を取り戻すのは容易なことではありませぬ。そこで、人が手入

れることで、再び生態系豊かな山に戻そうと、「天然記念物黒岩山保全協議会」が中心となって環境整備が進められています。

協議会では、春・秋にかけて草刈りや間伐を行うほか、これまでチョウや食草を人工増殖させて、黒岩山に移す事業も行ってきました。これらの取り組みは、継続していくことで効果が現れることから、長期の展望に立つた計画的な作業が欠かせません。現在も、山の再生に向けた地道な活動が進められています。

黒岩山講演会

入場無料

「豊かな生物多様性? …そんな、むずかしいことはよく分かんぞ」
じつは、あなた方がずっとそれを守ってきたんです。

ひと、生き物、森が、それぞれ互いの命を分かち合いながら生きられる場所。

そんな場所が今、急激に変わりつつあります。

日本のお宝である黒岩山のあるべき姿とは? そして今後はどうなるのか?

森の不思議で興味深いお話が盛りだくさん! 地元在住の井田先生が分かりやすく語ります。

ぜひ、お気軽にお出掛けください。

- 講師：信州大学准教授 井田秀行先生(教育学部附属志賀自然教育研究施設森林生態学研究室)
- 日時：11月27日(土) 午後2時~(開場午後1時30分~)
- 会場：外様地区活性化センター
- 主催：飯山市教育委員会
- 共催：天然記念物黒岩山保全協議会・外様公民館
- 問い合わせ：学習支援課 文化振興係(電話62-3342 飯山市公民館内)

「なんで、こごが天然記念物なんだサ?」

次の皆様から資料をご寄贈いただきました。(9~10月分) ありがとうございます。
山崎一郎様(木島) ◎ 裁ち板
松永守祐様 ◎ 高山植物標本他5冊
島津紀之様 ◎ 蒸籠・消防用桶・消防用布桶
福沢弘志様 ◎ 飯山町土木関係書類・飯山町地図(昭和初期)
山浦賢一郎様 ◎ ひな人形
市村昭一郎様 ◎ 手長・馬耕用鞍あて・せなち・箱膳
※ふるさと館では、当館で所蔵していない資料の寄贈を随時受け付けています。頂いた資料は、大切に保存・活用させていただきます。

ふるさと館への寄贈資料

- 講師 松本嶺ヶ崎高等学校 村石正行先生
- 日時 12月13日(月) 午後7時~8時30分
- 会場 市公民館講堂 ○参加費 無料
- 問い合わせ 飯山市公民館(62-3342)

お気軽にご来場ください!

「上杉家臣団と信濃・越後」

寺子屋いよいよ公開講座

場所 飯山市ふるさと館(電話67-2030)

年末年始(12月29日~1月3日)

休館日 月曜日(月曜祝日の場合は翌日)

時間 午前9時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

期間 12月7日(火)~平成23年1月30日(日)

現われ、他の地域とは異なる特色ある様式がみられます。

雪国の特徴的な住まいを中心に雪国いいやまを紹介します。

雪国に住まう

ふるさと館 冬季企画展